

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		ねたての都市(まち)PR事業	H24 ～ H33					
1	①	道路景観整備事業	H24 ～ H33	プロ野球キャンプを活用した観光振興を図るため、横浜DeNAベイスターズがキャンプを行う市立野球場及び海浜公園から国道58号線までの市道及び、沖縄コンベンションセンターから国道58号までの市道を整備する。	・主要観光道路(市道)景観整備	・主要観光道路(市道)景観整備:1路線(歩道等)の約半分完了	(今後の展開方針) H33年度までに11路線(15.5km)を整備する予定。	
1	②	はごろも祭り・カチャシー大会運営事業	H24 ～ H33	市民意識の高揚と親睦を図りつつ、地域活性化及び商工・観光振興の観点から「はごろも祭り・カチャシー大会」を支援する。	・はごろも祭りプログラム 各イベント数(20イベント) ・カチャシー大会参加数 子供・団体の部 (20チーム×20名) 個人の部(100名)	はごろも祭り・カチャシー大会来場者数 (来場者数:145,000人)	(今後の展開方針等) コンベンションエリア入域客数 基準値(H21年)430万人 目標値(H33年)900万人	
1	③	企画展開催事業	H24 ～ H33	市民や観光客に宜野湾市への理解を深めてもらうため、普天間飛行場をとりまく歴史を中心に企画展を開催する。	企画展を開催	企画展を開催:3本	(今後の展開方針等) 年間3本開催	
1	④	宜野湾市産業まつり	H24 ～ H33	市の特産品のPR及び産業振興を図るため、宜野湾市産業まつりの開催を支援する。	宜野湾市産業まつりの開催	宜野湾市産業まつりの開催 (来場者数:25,000人)	H33年度目標値 来場者数:30,000人	
1	⑤	文化財説明板・標識設置事業	H24 ～ H33	観光振興及び文化教育に資するため、市登録・指定文化財の所在地に標識や説明板を設置するとともに、自治会事務所等に「地域文化財案内板(ふるさと案内板)」を設置する。	文化財標識・説明板設置 地域文化財案内板設置	文化財標識・説明板設置件数:3件 地域文化財案内板設置件数:1件	(今後の展開方針等) 地域文化財案内板を各行政区・自治会ごとに設置する。また指定・登録文化財への標識や説明板設置を進める。詳細な情報を提供することで観光振興・文化教育につなげる。	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	⑥	ぎのわん車いすマラソン大会補助事業	H25 ～ H33	本市の海浜公園及びその周辺で毎年12月に開催されるぎのわん車いすマラソン大会(宜野湾市社会福祉協議会が事務局)に対して、事業運営の補助を行う。	ぎのわん車いすマラソン大会に対して、補助を行う。	大会参加者(実走者)目標数 全体220名(内県外参加者30名)	(今後の展開方針等) 同大会に継続して補助を行い、一層充実したものにしていくことにより、全国的な大会として、より一層認知されるように取り組み、障害者スポーツの振興、本市及び沖縄県のPRIにつなげる。 大会参加者(実走者)目標数(H33) 全体250名(内県外参加者50名)	
1	⑧	琉球海炎祭支援事業	H25 ～ H33	日本で一番早い夏の大花火をキャッチフレーズにしたイベントである。日本の夏の風物詩である花火と沖縄音楽・文化の融合によるオリジナリティーに溢れた沖縄最大の一大イベントであり、本市の観光振興に寄与しているため、当該イベントを支援し、観光・コンベンション機能の充実を図る。	・琉球海炎祭実行委員会への補助	琉球海炎祭有料エリア来場者数: 4,000人	(今後の展開方針等) コンベンションエリア入域客数 基準値(H21年)430万人 目標値(H33年)900万人	
1	⑨	横浜DeNAベイスターズグリーンコミュニティー事業	H25 ～ H33	プロ野球キャンプは、温かい沖縄を全国へアピールする絶好の機会であり、横浜DeNAベイスターズのキャンプ地である宜野湾海浜公園を南国沖縄の花で埋め尽くし、美ら島沖縄を全国へ発信し、観光・経済に大きな効果が期待できる。	植樹する花の苗 (15,000鉢)	・プロ野球キャンプ見学者数 目標値(H26年度):28,000人 基準値(H24年度):22,300人	(今後の展開方針等) コンベンションエリア入域客数 基準値(H21年)430万人 目標値(H33年)900万人	
1	⑩	宜野湾市西海岸地域開発検討調査事業	H25 ～ H33	観光・リゾート産業の振興及びコンベンション支援機能充実等のため、H25年度事業にて策定を行った基本構想について、更に詳細な調査を行い、西海岸地域における開発基本計画の策定を行う。	基本構想について、更に詳細な調査を行う 宜野湾市西海岸地域開発基本計画の策定	詳細調査完了 宜野湾市西海岸地域開発基本計画の策定	(今後の展開方針) 基本計画・実施計画を経て、観光・リゾート産業の振興及びコンベンション支援機能の充実整備等を目標とする。	
1	⑪	エンタテインメント産業支援事業	H26 ～ H28	エンタテインメントを沖縄の成長産業として育成していく試金石として、次世代を担う若年層が世界のエンタテインメントの最前線から直接学ぶ機会を提供するとともに、宜野湾市の新たなイメージを創出するオープンスクールイベント開催を支援する。	オープンスクールイベントの開催	オープンスクールイベント来場者数 (来場者数:1,000人)	(今後の展開方針等) コンベンションエリア入域客数 基準値(H21年)430万人 目標値(H33年)900万人	
1	⑫	トロピカルビーチ賑わい創出事業	H26 ～ H28	本市の観光資源であるトロピカルビーチでミュージックイベント等を実施することにより、市民の憩いの場や観光客の賑わいを創出し、アフターコンベンションの新たな観光スポットとして定着を図る。	イベントの開催	トロピカルビーチ入域者数 (来場者数:9月利用者24,000人)	(今後の展開方針等) コンベンションエリア入域客数 基準値(H21年)430万人 目標値(H33年)900万人	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	⑬	博物館機能強化事業	H26 ～ H33	観光振興及び生涯学習に資することを目的に、文化発信拠点である市立博物館の案内板充実など機能強化を実施する。	案内板、照明設備等の整備 常設展示室整備基本計画策定	案内板設置：4枚 照明設備等整備箇所：展示ロビー、特別収蔵庫等 常設展示室整備基本計画策定完了	【市立博物館内整備】 H27：常設展示室整備（展示設計）、館内（企画展示室、図書室）照明機器LED化、 H28：常設展示室整備（展示工事）	
2		地域社会とともに学ぶ・育む人材育成事業	H24 ～ H33					
2	①	スクールカウンセラー活用事業	H24 ～ H33	スクールカウンセラーを市内4小学校に定期的に派遣し、学級担任、児童生徒、保護者との相談（不登校・いじめ・非行・発達に関する問題等）を行い、教育相談の充実を図る。	・スクールカウンセラー配置	・スクールカウンセラー配置 市内4小学校（2名）	小中学校における不登校出現率 小学校 0.3%以内 中学校 2.5%以内 （出展）『平成25年度宜野湾市の学校教育』P28に準じた目標値	
2	②	スクールソーシャルワーカー活用事業	H24 ～ H33	近年の子供たちを取り巻く社会環境が著しく変化するなかで、遊び非行型及び心因性による不登校児童生徒の増加が懸念されている。このようなことから、スクールソーシャルワーカー等を配置し、学校及び関係機関と連携しながら不登校児童生徒の学校復帰に繋げる支援に取り組む。	スクールソーシャルワーカー配置	スクールソーシャルワーカー配置 第一相談室SSWアドバイザー（1名） 第一相談室SSWコーディネーター（3名） 市内小学校SSW（5名） 市内中学校SSW（8名）	非行系急学の不登校、心因性による不登校児童生徒の教育相談・家庭訪問・登校支援などの支援活動を行い、不登校児童の学校復帰、学級復帰に努める。	
2	③	適応指導教室事業	H24 ～ H33	不登校児童生徒の適応指導に関わる調査研究、教育相談を実施し、児童生徒の居場所づくりとして、宿泊・自然体験学習及び他校との交流体験活動を実施するなど不登校児童生徒の学校適応を促進する。	不登校児童生徒の適応指導に関わる調査研究、教育相談の実施	適応指導教室在籍児童生徒数：4名 ①不登校児童生徒を支援し、学校適応を促進 ②教育相談業務を充実、不登校児童生徒の「居場所づくり」を行う ③保護者との連携を密にし、信頼関係を築く	小中学校における不登校出現率 小学校 0.3%以内 中学校 2.5%以内 （出展）『平成25年度宜野湾市の学校教育』P28に準じた目標値	
2	④	児童生徒相談事業	H24 ～ H33	市内の幼児、児童生徒（18歳未満）及び保護者、教職員の悩みや教育上の問題について、教育相談指導員、臨床心理士を配置し、問題解決を図るために相談業務の充実を図る。	青少年教育相談指導員配置 臨床心理士配置	青少年教育相談指導員配置：4名（第二相談室） 臨床心理士配置：2名（第二相談室）	心因性による不登校児童生徒の相談支援、登校支援を行うなかで登校に向けての自立心の養成を促す。	

H26活動目標(指標)：平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H26成果目標(指標)：平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2	⑤	非行防止等巡回活動事業	H24 ～ H33	児童・生徒の健全育成を図る観点から、関係機関や地域と連携して青少年の問題行動に対して必要な注意・助言・指導を行うため夜間街頭指導員を配置する。	夜間街頭指導員配置	夜間街頭指導員活動人数 16人	夜間のはいかい箇所集約に努め巡回箇所の見直しを図り、児童生徒の犯罪や事故等の未然防止と抑止に繋げる。	
2	⑥	学習支援員活用事業	H24 ～ H33	学習に遅れをとっている児童・生徒が自ら学ぶ意欲を高め、基本的な学習内容を理解するため、授業内容をきめ細かにサポートする学習支援員を配置する。	学習支援員の配置	学習支援員の配置:13校13人 小学校9校9人、中学校4校4人	〈今後の展開方針〉 H27以降の配置 学習支援委員の配置:13校17人 小学校9校9人、中学校4校8人 中学1年の基礎的英語の強化を図るため、支援員を配置する。	7月変更 (計画変更に伴う事業内容、成果目標変更)
2	⑦	派遣費補助金交付事業	H24 ～ H33	児童生徒の文化活動及びスポーツを奨励するため、学校教育の一環として県外に派遣される場合に要する旅費等を補助する。	児童生徒の派遣補助	派遣補助団体数:30団体 (文化活動団体数:5団体 スポーツ活動団体数:25団体)	H27～H33の派遣補助団体見込数は、概ね210団体 各年度:30団体	
2	⑧	スポーツ少年団派遣費補助事業	H25 ～ H33	スポーツ活動による児童・生徒の健全育成を図るため、一定の基準を満たすスポーツ少年団等の県外派遣を補助する。	スポーツ少年団の派遣補助	16団体を目標に補助	各年度約16団体へ補助を予定。	7月変更 (計画変更に伴う事業内容変更)

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3		文化財等保護・活用推進事業	H24 ～ H33					
3	①	文化財保存整備事業	H24 ～ H33	文化財を適切に保存し、市民、観光客等に公開活用できるよう、文化財の石積修復や安全対策、修景などの整備を行う。平成26年度は、市指定史跡「野嵩クヌカカー」の整備をめざし基本設計委託業務と、「本部御殿墓」の測量業務を実施する。	野嵩クヌカカー基本設計策定 本部御殿墓の測量業務	野嵩クヌカカー基本設計策定完了 本部御殿墓の測量業務完了	(今後の展開方針) H26年度の成果に基づき、実施設計・整備工事を実施する。	
3	②	歴史公文書等整理・活用事業	H24 ～ H33	歴史的価値を有する宜野湾市(村)の公文書等を整理し、今後の市民・利用者の資料要求に迅速に対応することを目的とする。業務は、公文書等の整理を直営または委託し、保存、公開の基準づくりや利用に供するための検索システム作成などを行う。	歴史的価値を有する公文書等の整理 公文書公開のための基準作り	歴史的価値を有する公文書等の保存整理冊数: 200冊	(今後の展開方針) H27年度からは公文書公開を目標とする。	
4		地域で安心子育て支援事業	H24 ～ H33					
4	①	預かり保育事業	H24 ～ H33	地域の実態及び保護者の要請に応じて、公立幼稚園において、通常の保育時間の終了後や長期休業期間中等に預かり保育を実施する。	預かり保育実施幼稚園数:9園 預かり保育担当教諭:9人配置	預かり保育利用者数:1,500人 一時預かり保育利用者数:400人	(今後の展開方針) H33年度目標値: 預かり保育利用者数年間2,000人以上	
5		はごろも人材育成事業	H24 ～ H33					
5	①	中国廈門理工学院留学生派遣事業	H24 ～ H33	中国に対する理解を深め、国際的視野を持った人材育成を図るため、友好合作都市である中国福建省廈門市の市立大学に1年間研修留学生を派遣する。	留学生派遣	留学生派遣人数:1人	(今後の展開方針) H24～H33年度 各年度1人 累計10人	
5	②	平和市民啓発事業	H24 ～ H33	全国の青少年と交流し、命の尊さや平和意識について学ぶため、8/9に長崎で開催される「平和祈念式典」及び「青少年ピースフォーラム」に市内生徒8名を派遣する。	平和学習派遣	平和学習派遣生徒数:8人	(今後の展開方針) H24～H33年度 各年度8人 累計80人	7月変更 (計画変更に伴う事業内容、成果目標変更)

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考		
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等		
5	③	小学校英語教育課程特例校事業	H24 ～ H33	本市は、平成15年度に国の英語教育特区の認定を受け、平成16年度以降、小学校に「英語科」を新設、小中一貫した英語教育を行っている。効果的・継続的な指導のもと、児童生徒の国際化時代に必要となる外国人との実践的コミュニケーション能力の基礎を育むため、外国人英語指導助手及び日本人英語教師を小学校に派遣する。	ALT(外国人英語指導助手)及びJTE(日本人英語教師)を配置 :全小学校(9校) ALT9人 JTE9人	小学校児童英語検定受験者数の増 H25年度は2,032人の受験者数 H26年度も約2,000人余りの受験者を予定	(今後の展開方針) H24～H33年度 児童英語検定受験者数:20,000人以上(累計)		
5	④	外国人教師招致事業	H24 ～ H33	本市は、平成15年度に国の英語教育特区の認定を受け、平成16年度以降、小学校に「英語科」を新設、小中一貫した英語教育を行っている。効果的・継続的な指導のもと、児童生徒の国際化時代に必要となる外国人との実践的コミュニケーション能力の基礎を育むため、外国人英語指導助手を中学校に派遣する。	ALT(外国人英語指導助手)の配置 :全中学校(4校) (各中学校1人配置)	中学校英語検定受験者数の増 H25年度は1,287人の受験者数 H26年度も約1,500人の受験者を予定	(今後の展開方針) H24～H33年度 英語検定受験者数:13,000人以上(累計)		
5	⑤	学校ICT活用指導支援事業	H24 ～ H33	児童生徒の情報活用能力向上を図るため、ITサポート支援員を派遣し、教育用PC、電子黒板及びプロジェクターなどを活用した情報教育授業を実施する。	情報夏期講習会 情報教育研究会検証授業 IT活用嘱託員・補助員の配置	・情報夏期講習会:計8回 ・情報教育研究会検証授業:計12回 ・IT活用嘱託員・補助員の配置:計2名	教師用アンケート「授業にICTを活用して指導できる」率が小学校では、9割に達したが、中学校は、5割に満たなかった。今後は、中学校を重点にICTの活用した授業の展開ができるよう研修の拡充を行う。小・中学校併せてICT活用率8割を目標とする。		
6		宜野湾市基地返還跡地転用推進基金事業	H24 ～ H33						
6	①	宜野湾市基地返還跡地転用推進基金事業	H24 ～ H33	本市の面積の約3割を占める広大な米軍基地は、住みよいまちづくりをする上で最大の阻害要因となってきた。土地を住民から強制接収した経緯から土地の約9割以上が民有地となっており、公共用地が極端に少ない状況であり、駐留軍用地の返還後の跡地利用推進を図るため、基地返還跡地転用推進基金を設置し、早急に公共用地を確保する。	普天間飛行場及び西普天間住宅地区の土地を取得する。	必要な土地についての取得率 普天間飛行場 平成25年度末16.9%→平成26年度末20%以上 西普天間住宅地区 平成25年度末0%→平成26年度末75%以上	(今後の展開方針) 返還後の跡地利用の推進を図るべく、平成33年までの間で、普天間飛行場における必要な土地について100%の取得をめざし、計画的かつ継続的に先行取得を行っていく。	12月変更 (計画変更に伴う各目標変更)	
7		大規模駐留軍用地跡地等利用推進事業	H24 ～ H33						

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
7	①	普天間飛行場跡地利用計画策定事業(地権者意向調査)	H24 ～ H33	普天間飛行場の跡地利用推進のため、関係地権者や市民の合意形成に向け、情報提供や意向把握等の調査を行う。また、市民によって構成される「N Bミーティング」や若手地権者等によって構成される「若手の会」の活動を助成し、合意形成についての取り組みを行う。	地権者・市民意向把握の実施、しくみづくりの取り組み	普天間飛行場跡地利用計画策定	(今後の展開方針) 合意形成に向け、市全体の将来像(市全体の土地利用、道路網や跡地利用方針等)検討のための「(仮称)普天間飛行場まちづくり協議会」の立ち上げに向けて取り組んでいく。	
7	②	普天間飛行場跡地利用計画策定事業(共同事業)	H24 ～ H33	宜野湾市と沖縄県が平成19年5月に策定した「行動計画」に基づき、跡地利用の骨格に係る分野別計画の検討と、市民・県民・地権者等に対して情報発信及び意見の聴取を行い、普天間飛行場跡地利用計画に反映させる。	全体計画の中間取りまとめについての意向把握	普天間飛行場跡地利用計画策定	(今後の展開方針) 沖縄における在日米軍施設・区域に関する統合計画において、返還時期が示されたことを受け、具体的な跡地利用の取り組みについての行程計画を作成し、跡地利用計画の策定に向けて取り組んで行く。	
7	③	キャンプ瑞慶覧跡地利用計画策定事業	H24 ～ H33	キャンプ瑞慶覧のうち、返還が合意されている宜野湾市部分について、返還後の跡地利用計画を円滑に促進するために跡地利用計画の策定及び地権者の合意形成活動を行い、地権者全体でまちづくりを推進する体制を実現することを目的に、地権者の跡地利用に対する意識高揚を図る。	キャンプ瑞慶覧(宜野湾市地区)跡地利用計画策定	キャンプ瑞慶覧(宜野湾市地区)跡地利用計画策定完了	(今後の展開方針) 跡地利用計画の実施に向けて想定されるまちづくり体制上の課題を整理したうえで、施行主体及び地権者まちづくり推進体制等について取り組んで行く。	
7	④	埋蔵文化財発掘調査支援検討調査事業	H24 ～ H33	埋蔵文化財調査の情報と進捗する試掘・確認調査の関連情報が、地権者等に広く提供・公開できる「仕組み」を整備する。併せて平成23年度に作成した普天間飛行場の「重要遺跡保存整備基本構想(素案)」を基に、『遺跡(埋蔵文化財)以外の文化財』と「基地外の文化財」も統一的に見据えた「重要文化財保存整備基本構想(案)」を作成する	重要文化財基本構想(案)作成	重要文化財基本構想(案)作成完了	(今後の展開方針等) 重要文化財基本構想策定	
7	⑤	キャンプ瑞慶覧文化財保護マスタープラン策定調査事業	H24 ～ H33	平成26年度返還が予定されている西普天間住宅地区(キャンプ瑞慶覧)の跡地利用の促進及び円滑化等に向けて、基地内調査成果等に基づき当該地区の重要文化財保存整備実施計画を策定する。	重要文化財基本計画更新	重要文化財基本計画更新完了	(今後の展開方針等) 重要文化財保存整備実施計画策定	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
				8				
8	①	市民会館機能強化事業	H24 ～ H29	宜野湾市民会館は文化活動の拠点として、市民の発表の場や芸術の鑑賞の場として活用されているが、普天間飛行場の移設、跡地利用に目途がつくまでの間、より利用しやすい施設として機能向上を図る。平成26年度はエレベーター設備設計業務と工事を実施する。	エレベーター改修工事	エレベーター改修による機能改善	(今後の展開方針) H27年度:大ホール舞台機構及び音響設備改修 H28～30年度:消防設備改修、空調設備改修、大ホール絨毯、客席取替工事等	
9		中央公民館機能強化事業	H24 ～ H27					
9	①	中央公民館機能強化事業	H24 ～ H27	宜野湾市中央公民館は社会教育施設の拠点として、講座、教室、講演会等の場に活用されているが、普天間飛行場の移設、跡地利用に目途がつくまでの間、現在の研修室等を改修し、より利用しやすい施設として機能向上を図る。平成26年度は舞台照明設備改修設計業務を実施する。	舞台照明設備改修設計	舞台照明設備改修設計完了	(今後の展開方針) H27年度:舞台照明設備等改修工事 H27年度:集会場舞台設備改修設計及び工事	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。